

一般質問《12月会議》

12月14日～15日に一般質問を行いました。



全ての内容は動画で視聴できます。HPで検索いただくか、QRコードを読み取ってご覧ください。



日本共産党
かわくち きよよし
川口清之 議員

○水田活用の直接支払交付金について ○農業資材価格対策支援事業について等



【問】 4年度の水田活用直接支払交付金の減少見込み額は。

【答】 1863万円減少で、

大きな要因は、播種を伴わない多年生牧草の交付単価の変化です。

【問】 農業資材価格等高騰対策支援給付金の申請件数と金額は。

【答】 11月21日現在で、申請件数158件、給付額は5955万7千円です。

【問】 3年度のナラシ対策と収入保険の補てん件数

と金額は。

【答】 ナラシ対策の補てん件数は59件で、金額は102万2650円です。

収入保険の補てん件数は9件で、金額は1111万4118円です。

【問】 3年度の中小企業支援実績は。

【答】 市としては、中小店舗への地域経済循環支援事業、いわて飲食店安心認証店を取得した56店舗に対して店舗あたり10万円の支給、一定割合以上

の売り上げ減少の事業者に対する滝沢市中小企業等経営支援事業の3事業を実施しました。

【問】 4年度の中小企業への物価高騰支援実績は。

【答】 地域経済循環支援事業と、県が実施する物価高騰対策支援金の給付を受けた事業者に対し10万円を追加で支給する2事業を実施しています。



会派に属さない議員
おくつ かずとし
奥津一俊 議員

○ハコモノ施設の維持管理について ○インフラ施設の維持管理について



【問】 子育て支援施設において、構造物の劣化や損傷程度を把握し、適切に修理・修繕するための具体的方法は。

【答】 法人等が運営する施設において、毎月、施設職員がチェックシートを活用して安全点検を実施し、修繕等が必要な場合には業者へ依頼します。

【問】 庁舎等施設の長寿命化改修に不可欠な日常点検の実施内容は。

【答】 職員等が施設内の異

常に注意を払い、また来庁者からの通報等も考慮して、安全に配慮し、施設管理上業務に支障のある箇所は随時対応していきます。

【問】 橋りょうの中長期的維持管理費低減と事業費の平準化等を図る具体的施策は。

【答】 定期点検により健全度や老朽化の状態を把握し、適切かつ計画的な維持管理に努めており、さらに、日々の道路パトロー



新志会
やなぎはら こうし
柳橋好子 議員

○小岩井公民館建設について ○带状疱疹予防接種への助成について



【問】 小岩井公民館は昭和38年に建設され、既に59年経過している。建物の老朽化が著しく、使用に支障をきたすこともある。住民は早急な建設を望んでいるが、見通しは。

【答】 集会所のない自治会が最優先で、次に集会所継続に課題のある自治会の支援をしています。小岩井公民館は解決すべき課題と捉えています。

【問】 小岩井地区コミュニティセンター隣の土地を

購入または借用し、公民館建設とともに駐車場を整備することにより、コミュニティセンター利用者やさらに駅利用者の便宜が図れるのでは。

【答】 土地の取得は補助対象外で、市所有の土地への建設が前提です。利用頻度に応じた駐車場は必要なので、公民館新築と合わせて検討します。

【問】 小岩井地区に利用されていない市所有の土地がある。そこを売却して

チウリの駆除に尽力している「たきざわ環境パートナー会議」への新たな支援を検討します。

【問】 放課後子ども教室の事業効果は。

【答】 現在「チャグホ塾」の2か所で展開しており、放課後の安全確保とともに体験活動や交流活動を通して、自主性や社会性が身につくなどの成果がみられます。



会派に属さない議員
さとう てるこ
佐藤澄子 議員

○岩手山噴火による避難対応について ○アレチウリの駆除対策について等



【問】 融雪型火山泥流が予想される自治会の避難訓練や避難体制は。

【答】 融雪型火山泥流を想定した訓練は、今年度10月2日に柳沢地区で初めて実施しました。

自主防災組織には生命への危険と広範囲への影響を理解してもらおうと、出前講座や地域防災リーダー講習会で周知を図ります。また、想定地区での避難訓練を広め、体制を整えます。

【問】 アレチウリの繁殖状況調査と駆除対策計画の策定は。

【答】 策定は現在考えていませんが、継続的な対策が必要と捉え、今後アレ

チウリの駆除に尽力している「たきざわ環境パートナー会議」への新たな支援を検討します。

【問】 放課後子ども教室の事業効果は。

【答】 現在「チャグホ塾」の2か所で展開しており、放課後の安全確保とともに体験活動や交流活動を通して、自主性や社会性が身につくなどの成果がみられます。

新志会
山谷 仁 議員



盛岡赤十字病院誘致の スケジュールについて



問 選挙公約の1番目に掲げている、盛岡赤十字病院誘致は、市民にとって大きな期待と賛美の拍手が沸いたものと考えます。これから進めていく上で具体的なスケジュールは。

答 このたびの市長選挙において、盛岡赤十字病院の誘致を公約に掲げ、最優先で取り組むべきものとして市民の皆さんに訴えてきました。その中では、多くの市民の皆さんから、期待する旨の意見をいただいています。誘致に向けた具体的なスケジュールの検討はこれからですが、先日、盛岡赤十字病院へ出向き、岩手県医師会などの関係機関とも協議を重ね、この4年間の任期中において少くも進展させられるよう全力を尽くします。

んから、期待する旨の意見を得ています。誘致に向けた具体的なスケジュールの検討はこれからですが、先日、盛岡赤十字病院へ出向き、岩手県医師会などの関係機関とも協議を重ね、この4年間の任期中において少くも進展させられるよう全力を尽くします。



会派に属さない議員
田中 亜弓 議員



いわて雪まつりに替わる イベントの開催について



問 岩手県を代表するイベントとして、長年開催されてきた「いわて雪まつり」が終了になったことを受け、市として、いわて雪まつりに替わるイベントを開催する考えはあるか、または、開催したいと考えている団体等があった場合に連携して取り組む考えは。

答 本市において、これまで実施してきた「いわて雪まつり」に替わるイベントの実施は、雪まつりの終了を決定した要因となった環境の変化や価値観の変化など様々な要因について考えるべきであり、同様のイベントを実施することは現状では考えていません。

りの終了を決定した要因となった環境の変化や価値観の変化など様々な要因について考えるべきであり、同様のイベントを実施することは現状では考えていません。



会派に属さない議員
菅野 福雄 議員



小中学校の不登校 児童生徒への対応について 通園バス等の 置き去り防止について等



問 3年度の不登校児童生徒の人数とその対応は。

答 小学生の不登校14人、中学生56人です。スクールカウンセラー12名を配置し児童生徒や保護者の不安の解消と復帰への動機づけを図っています。

問 3年度のいじめの認知件数と対応は。

答 いじめ認知件数は小学校88件、中学校12件です。「悩み・いじめアンケート調査」を実施し、本人および保護者がいじめを受けたと回答したものはいじめとして認知し、介入、指導が求められるレベルや重大事態となりうるレベルについては速やかに保護者や教育委員会と連携した対応に努めています。

問 通園バス等の置き去り防止策は。

答 市内の通園バス利用施設は認定こども園3施設、幼稚園1施設です。現在まで置き去り発生報告はなく、運行前は乗車連携を検討します。

が いじめを受けたと回答したものはいじめとして認知し、介入、指導が求められるレベルや重大事態となりうるレベルについては速やかに保護者や教育委員会と連携した対応に努めています。

滝政会
井上 仁 議員



マイナンバーカードの 普及について 市内の経済対策について



問 マイナンバーカードの今年度実施の普及策と周知方法は。

答 転入転出届のワンストップサービス、住民票等のコンビニ交付、各種証明書のインターネット申請を進めています。

問 マイナンバーカードの市内実績は。

答 交付件数は開始した6月に比べ11月は8倍以上で、一定の効果があったと捉えています。

問 普及策の受け入れ現状の評価は。

答 若い世代での受け入れ効果があつたと捉えています。

問 普及率を全国平均へ近づける対策は。

答 カードを活用した新たな窓口サービス事業を着実に進め、利便性と普及率の向上に努めます。


問 飲食店等への経済対策は。

答 キャッシュレス推進による地域経済循環支援事業と物価高騰対策支援振興に努めます。

の今年度実施の普及策と周知方法は。

常任委員会 所管事務調査

委員会では、議案等の審査のほか、地域の課題解決に向けた調査研究を行っています。
各常任委員会で現在取り組んでいる所管事務調査を紹介します。
これまでの調査報告書は、市議会HPからご覧いただけます。

常任委員会	総務教育	環境厚生	産業建設
調査項目名称	学校教育施設等の整備と今後の活用	市の医療体制の構築について	市道の現状と課題について
調査理由および目的	<p>児童生徒が良好な教育環境で学校生活を送ることが出来ているかを検証し、今後の施設の活用について調査を行うもの。</p> 	<p>本市の医療体制は、コロナの行政検査やワクチン接種のあり方など、市と岩手西北医師会との連携不足が浮き彫りになったと感じられる。</p> <p>一方で、「在宅医療」に着目すると、同医師会の活動（在宅BOX、やまぼうし）を有機的に連携する施策の構築が不可欠と考える。以上により、医療体制の構築について調査研究するもの。</p>	<p>市道の管理体制の確認を行い、諸所の問題解決を図るため、市道全路線の現状を把握し、課題を明らかにすることから、安全で快適に利用できる道路環境整備について調査するもの。</p> 